

8

2006年

組合広報

NO. 476

よろこばれ 期待され 魅力ある

 東京都鍍金工業組合
 東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

わたしの意見	全鍍連財政再建について	副理事長 姫野 正弘	1
役員会委員会	理事長日誌、組合・関連団体行事予定		2
	工組理事会、技能教育委員会		3
	平成19年度東京都予算及び18年度東京都事業への要望		8
	広報委員会・エコアクション21とは		12
	土壌汚染対策に関し鍍金振興議連、都産業労働局と懇談		14
	技能検定実技試験実施		16
	亜鉛めっき部会講習会開催のお知らせ		17
あなたの予定表	9月の環研・協組集荷日程ほか		18
	訓練校9月授業案内		19
	第9回親睦ゴルフ大会・岡正典氏優勝		20
	個人戦・団体戦の成績		22
	ザ商談！しごと 発掘市・受注希望企業の募集、訃報		25
	METEC'07 第36回表面処理材料総合展開催に当り出店のご案内		26
	十日会 ニシハラ理工(株)、京王電化工業(株)見学		28
	靖国神社問題と中国思想	組合相談役 江原 猛二	30
	第40回上級表面処理技術講座受講生募集		32
お気に入りの散歩道	「芝公園」		33
つま恋坂	「人手不足」	藤田 直人(品川支部)	34
支部通信	城東支部、葛飾支部、城南支部		35
	足立支部、中央支部		
	中国語これはなにかな？「西紅柿」		40

全鍍連財政再建について

副理事長 姫野 正弘



残暑お見舞い申し上げます。

まだまだ暑さの厳しい日が続きますが、組合員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は全鍍連において総務委員長を仰せつかり、緊急課題として財政再建に取り組んで参りました。お蔭様で、組合員の皆様のご理解のもと賦課金値上げ案について満場一致でご承認を頂くことが出来ました。

賦課金とは、皆様からお預かりする大切なお金です。書面をお借りして、再度値上げに至った経緯につきましてご説明させて頂ければと存じます。

近年全鍍連の財政は、皆様からお預かりした賦課金を基に堅実に運営されて参りました。当期も経費削減により何とか急場を凌ぐことが出来ました。しかしながら、今後想定される組合員の減少等鑑みますと、近年中に大幅な赤字に陥ることが避けられないことが判明しました。総務委員会での議論の中で、傷が大きく広がらないうちに早急な対処が必要だと結論が出ました。

次に総務三役会四回、委員会二回と議論を重ねました。議論の結果、経費削減を前提とした上で、どうしても足りない部分については賦課金の値上げをせざるを得ない方向性が見えて参りました。各単組から頂いた意見の中には全鍍連の賦課金が大変な重荷になっているとの声もございました。しかし最終的には、環境問題等業界全体が抱える問題をクリアーし、業界が今後益々繁栄していくためには、業界と行政のパイプ役として全鍍連が必要不可欠な存在とのご理解を頂いて、総務委員会の方針をまとめさせて頂きました。

総務委員会で決定した方針を基に、正・副会長、総務委員長をもって財政再建検討委員会を立ち上げ、更に議論を重ねました。事務局からのヒアリング、諸経費のシミュレーション等を勘案して、約380万円の賦課金値上げにより、今後5年程度は健全な運営が出来る目処がつかしました。また、今後も5年10年というスパンの中で、その時々の財政状況を見極めながら、賦課金額について再検討するスキームを正・副会長及び総務委員長が中心となって作ることになりました。

全鍍連運営が、次の世代へ健全な財務体質で引継ぐことが出来、総務委員会としても一応の役割を果たすことが出来たと安堵しております。

最後になりますが、賦課金値上げに際しまして、組合員の皆様に多大なるご理解・ご協力を頂きましたことに心より御礼申し上げます。

大村理事長日誌



7月

- 2日(日)親睦ゴルフ大会
- 4日(火)小杉隆衆議員フォーラム
- 5日(水)原互氏(長野組合前理事長、全鍍連前副会長)旭日小綬章受章祝賀会

- 7日(金)全鍍連近代化推進委員会(京都)
- 11日(火)都中央会組合士認定証授与式
- 12日(水)都中央会役員委員長合同会議
- 13日(木)工組事務局

正副理事長会・理事会

- 14日(金)都議会鍍金議連・都産労局と懇談
- 17日(月)笹野不二夫氏(愛知組合理事長・全鍍連前会長)旭日双光章受章祝賀会
- 18日(火)都中央会で商工中金民営化懇談
- 20～21日(木金)中央会関東甲信越静岡ブロック会議
- 22日(土)技能検定実技試験
- 24日(月)工組事務局・大田昭宏衆議員懇談
- 27日(木)都中央会として東京都局長・部長・課長と懇談
- 28日(金)東京都障害者雇用促進協会理事会
東京都政経フォーラム
- 29日(土)㈱三進製作所・福田正氏博士号取得お祝い

～組合・関連団体行事予定～

- 9月2日(土)訓練校修了生講演会
技能教育小委員会
- 9月4日(月)日本硬質クロム工業会人材育成事業検討会・情報委員会
- 9月5日(火)監事会
- 9月6日(水)厚生年金基金理事会・代議員会
全鍍連環境対策委員会
- 9月7日(木)環境委員会
- 9月11日(月)正副理事長会・理事会
- 9月13日(水)健保事業運営委員会
- 9月14日(木)亜鉛部会講習会
- 9月20日(水)十日会例会
- 9月21日(木)第1回合同役員会
顧問・相談役会
- 9月27日(水)全鍍連北海道東北ブロック会議
- 10月5日(木)環境委員会
- 10月6日(金)全鍍連関東甲信越静岡ブロック会議
- 10月7日(土)正副理事長会
- 10月11日(水)広報委員会
全鍍連近代化三役会
- 10月13日(金)訓練校工場見学
- 10月13～14日(金土)第8回産業ときめきフェア in EDOGAWA
- 10月19日(木)全鍍連技術三役会
第58回中小企業団体全国大会
- 10月20日(金)全鍍連中国四国九州ブロック会議
- 10月20～22日(金～日)葛飾区産業フェア
- 10月26日(木)監事会、全鍍連総務委員会
- 10月27日(金)全鍍連東海北陸ブロック会議
- 11月1日(水)正副理事長会・理事会

工組 第1回 理 事 会

東京都予算への要望事項等承認

と き 平成18年7月13日(木)
午後6時30分～8時
ところ めっきセンター4階会議室
出席者 大村、由田、川上、八幡
志田、青木 治郎
元井、中澤、篠根、小嶋
小澤、神谷、池田、安斎
遠藤、小橋、荻宿、高橋
小谷野、藤田、原、佐藤
宮川、今泉、高松、木下
斎藤、永田、細井、小倉
広根、石田、石崎、山田
柴
(監事) 柏村、平野、石川

青木専務理事が定足数を満たしていることを報告、大村理事長は去る7月2日

の親睦ゴルフ大会への協力に感謝の言葉を述べ、議長となり、議事録確認者として、城東支部長の遠藤清孝理事、城西支部長の小橋秀一理事を指名し、議事に入った。

1. 平成19年度東京都予算への要望事項(案)について(別掲)

青木専務理事が、原油価格高騰など経済情勢を踏まえた前文から、1) 土壌汚染対策に関するお願い 2) 技能検定実施に関するお願い 3) 上下水道料金の減額措置継続に関するお願い 4) 多摩地域の下水道料金の減額措置に関するお願いの4つの要望事項についてそれぞれの要点を説明した。

大村理事長は「都議会の先生を交えて下水道局と話し合った時は良い雰囲気だったが、本日わざわざ下水道局課長等が訪ねてきて、都下水道条例では50m³未満も規制対象にしているが、上乘せ条例で定めた『基準値』を国より緩やかにす



することはできないと下水道法で決められているという話を受けた。水濁法では50 m³未満の裾切りを謳っていると反論したが、いろいろな難しい説明があった。今後は都議会の先生を交えて対応していきたいと考えている。明日は土壤汚染対策の補助金について産業労働局と話し合うが、ここへ来て都職員の人事異動があり、せっかく顔馴染になった関係がまた振り出しに戻ったようである。上下水道料金の減額措置では他県組合で毎年要望しなかったところ取り消された事例があり、毎年要望していかなければいけない」と補足し、要望内容を原案通り承認した。

2. 平成18年度顧問・相談役会の開催について

9月21日午後4時から第1回合同役員会、5時から顧問相談役会、6時から懇親会。開催案内を8月10日に発送予定であることを青木専務理事が説明し、承認した。

篠根常任理事は、顧問から報道が入ると積極的な発言が出来ないという意見があったが、今回は配慮して頂きたいとの意見があり、大村理事長から対処する旨の説明があった。

3. 平成19年新年賀詞交歓会の日程及び取組み体制について

(1月18日(木)午後6時～サンシャインシティプリンスホテル(案))

青木専務理事から、会場を確保しており、前回同様に支部長を中心として実行委員会を編成し取り組みたいと説明し、承認した。

4. 月次予算実績管理表(4月～5月)について

青木専務理事が、5月末時点の実績を報告した。これには職員賞与、全録連会費等を支出していない一方、分析事業収入が伸びており、収益が多くなっている状況を説明した。

5. 組合員異動

脱退3社、変更3社、前年度末組合員数482社が現在479社となっていることを報告した。

(報告事項)

1. 東京都環境局「土壤汚染に係る総合支援対策検討委員会」の開催結果について

青木専務理事が説明した。

東京都が平成18年度に新規事業として予算計上(800万円)した「土壤汚染対策の促進」の一環として、環境局長が召集した標記の委員会が、関係各分野の専門家の参画により、第1回検討委員会が5月31日午後4時～6時15分まで、都庁内の会議室で開催された。会議は公開で行われ、議題は(1)東京都の土壤汚染対策の現状と課題について(2)各委員の立場から見た土壤汚染対策の課題について(3)今後の検討の進め方について、2時間の予定時間をオーバーして活発な意見交換・検討が行われ、今後の予定としては、数回の検討を経て来年2月頃に「土壤汚染対策促進のための仕組み(案)」を策定する。

第2回の検討委員会は6月28日(水)午後4時～6時、都庁内の会議室で開催された。議題は(1)顕在化しつつある土壤汚染対策の新たな課題について(2)新たな課題解決のための検討の方向性について

昨日(7.12)第3回検討委員会が開かれ「中間まとめ」を行い、これに対する意見

を聴くための「ヒアリング」を、東京商工会議所を通して関係業界団体（東京都鍍金工業組合ほか6団体）を対象に9月ごろに実施する予定。また、平行して、個別事業所についても業界団体を通して、土壌汚染の認識等に関するアンケート調査を実施する予定である。

2. 平成18年度技能検定実技試験について

技能検定実技試験の業務分担など取組み体制を報告した。

3. 第4回訓練修了生講演・懇親会開催について

9月2日午後4時から東京ガーデンパレスで、斉藤欣一氏の「職場におけるメンタルヘルス」講演及び午後5時30分から懇親会開催を報告した。

4. 平成18年度全国めっき技術コンクールについて

全鍍連主催の同コンクールの概要を説明、多数の参加を求めた。

5. 平成18年度東京都中小企業経営革新特別対策事業について

青木専務理事から、昨年度同事業により実施したふっ素処理研究結果を基に、学識経験者、現場実務経験者等からなる委員会を設置し、ふっ素処理技術の普及啓発をすべく、小冊子にまとめ、組合員工場に配布するもので、402千円補助金申請するなどを報告した。

6. 第40回永年勤続優良従業員表彰について

例年に準じて、表彰年数、表彰状、申込書、申込締切等、実施要領について報

告した。

7. 工場火災のご注意について

7月3日夜、組合員工場から火災が発生し、消防車31台が出動、周辺住民が避難するという大きな騒ぎとなり、組合は、事故翌日、各支部長に次の文書を送付したことを報告した。

平成18年7月4日

工場火災のご注意について

拝啓時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素から組合運営にご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、新聞・テレビ等のニュースなどですでにご存知のことと思いますが、昨日、組合員事業所におきまして、工場の火災事故が発生致しました。残念ながら、平成18年において3件目の組合員事業所の火災となってしまいました。私どもの工場は、一般の住宅や事務所等のビルとは異なり、様々な危険物や着火物となるものが多く収容され、火災危険が大きいだけでなく、ひとたび火災が発生すると、周辺地域へ損害を及ぼすことがあり、企業経営の根幹を揺るがすことも考えられますので、今後、組合員事業所による火災事故を防止するために、支部例会等において火災に対する嚴重注意のほどをよろしくお願い申し上げます。

また、各報道において「シアン化ナトリウム約30kg」などの薬品が保管されている旨報道されておりますので、薬品類の管理にはより一層ご配慮下さいますよう重ねてお願い申し上げます。敬具

小橋城西支部長から「火災のニュースを見てびっくりしたが、火災はトリクロンのスイッチの切り忘れにより塩ビのダ

クトが過熱し溶けたというぼやである。翌4日は消防関係が来て仕事は出来なかったが、午後から平常通り操業したということである。みなさんにご心配をかけたお詫び申し上げます。本人からも謝罪の言葉があった。なお、火災ではシアン化ナトリウム云々と報道されたが、シアンのことがどこから出たのか分からないという」と説明があった。

8. 年間行事予定表

予定表の内容を説明し特に9月6日の理事会を9月11日に変更することを報告した。

9. その他

遠藤城東支部長から「現在支部運営で頭が痛いのは役員の人材がいなくてである。支部運営でお手伝いしてほしいと各事業所を回ったが良い話は得られなかった。葛飾支部、向島支部さんには支部事務局があるが、城東にはなく、役員の仕事が軽減する意味で支部事務を本部へ委託出来るものがあれば委託したい」と提案、大村理事長は「支部の事務が厳しいので、本部へ委託してやってくれないかということ、他支部でもそういうことがあるかもしれないが、本部事務局でどこまで出来るかを含めて検討させて頂きたい。次回理事会には返事が出来るようにしたい」と回答した。

最後に川上副理事長が閉会の辞を述べ、理事会を終了した。

第3回 工組 技能教育委員会

技能検定試験報告等

と き 平成 18 年 8 月 4 日(金)18:00
と ころ 丸ビル “筑紫樓”
出席者 八幡、志田、高倉、中澤
芹川、岡崎、荻宿、大沢
菅野、内藤、大和田、田村
石井、中田、太田、安西
佐藤
(理事長) 大村
(事務局) 志賀、宮部、三嶋、戸井崎

志田委員長、八幡副理事長、大村理事長から挨拶を頂き、議事に入った。

1. 平成 18 年度 技能検定実技試験報告 について

①7月22日・23日の技能検定実技試験結果について説明した。

1級の受験生10名、2級の受験生56名(内欠席者5名)が受験され、滞りなく試験を終了した。

②治具講習会の報告について

6月20日・21日・22日・23日・26日・28日の6日間行われ、参加者は38名(ハルセル講習も含む)となり、無事終了した。

2. 毒物劇物取扱者試験講習会の報告 について

受講生20名で4月12日から6月28日までの毎週水曜日(全10回)の講習会が行われた。今年度から講師を環研所長、

課長、主任の3名が担当し、15名が受験、6名が合格した。東京都での合格者平均は49.9%で講習会受講生の合格率は40%という結果となった。

3. 技能検定実技試験の問題点と改善方法について

平成18年度の技能検定が終了したことで、各課題の検定委員より問題点と改善方法について報告して頂いた。

この報告は平成19年度の技能検定試験に活かせるよう十分検討していくことにした。また、受験生の試験問題の解釈が様々なので、今後どの様に対応していくかが今後の課題となった。

4. 訓練校募集パンフレット校正について

昨年度のパンフレットの表紙は緑色だったが、今年度は黄色をメインとし、枠と入校案内の枠の色を数種類の色から、技能教育委員の意見をもとに決定した。その結果、枠の色は、紺色に近い青色に少し模様が入った枠と、同色の入校案内

の色とした。

5. 第4回訓練修了生講演・懇親会について

①講演・懇親会の詳細について説明をした。

②現在の出席者総人数は、55名で修了生が少なく、技能教育委員にも各支部の修了生への参加要請をお願いした。

③当日は、参加者全員にネームプレートを付けてもらうことにした。

④講演・懇親会の会場で、「電気めっきガイド2006」を修了生対象に3000円にて販売することにした。

⑤出席者に対してアンケートを実施し、講演会終了後回収することを決めた。

⑥第2部の懇親会の中で、修了生が盛り上げることの出来る催しを司会の芹川委員が中心となって考えることとした。

6. その他

・芹川委員より来年度のキャッチフレーズを城北支部の大和田委員に指名した。

高倉副委員長の閉会の挨拶で終了した。



平成 19 年度東京都予算及び

平成 18 年度東京都事業への要望

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

日頃、私どもの業界に対して、あたたかいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

めっきは金属を腐食から守り、美しい装飾性を持つほか、耐磨耗性、電気伝導性等の機能的用途にも用いられています。さまざまな製品・部品の表面を創生するうえで重要かつ不可欠な技術であり、航空機・自動車から携帯電話・パソコンの部品にいたるまで、人の生活の中のありとあらゆるところで用いられている技術です。

このように重要な役割と使命をもちながらも、我が国のめっき業界の現状を見ますと、最近では景気が回復しているといわれていますが、国内産業の空洞化等によるめっき需要の激減、原油価格・原材料価格の高騰による収益圧迫など、厳しい経営環境が続いています。さらに、製品への特定有害物質使用制限など強化される一方の環境規制、技能の承継や人材育成など、多くの困難な課題に直面しています。

とりわけ、めっき業は環境負荷の大きい原材料を使用するため、環境問題には特段の配慮が必要とされており、「環境との共生」はわが業界の最重要課題であると認識しております。

私たちは、直面する困難な課題解決のために創意・工夫、自助努力を積み重ねる一方、現実的かつ具体的な提案を各方面に対して行い、関係行政機関等との連携を一層強化してまいりたいと考えております。

私たちがめっき業を営む東京は中小企業の集積する産業都市であり、モノづくりに励む中小製造業の生き残りや再生は、東京の発展と都民生活の向上のために不可欠の課題です。私たちがめっき業界にはそのモノづくりを支えるという重要な社会的役割が課せられています。

どうか、めっき業界が置かれた現状をご理解いただき、平成 19 年度の東京都予算に私達の願いを反映されるべく、予算措置を講ずるなど、特別のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 土壌汚染対策に関するお願い<環境局・産業労働局>

(1) 土壌汚染地への対策は汚染物質の種類やその度合いのほか、当該地の用途地域、接面道路の状況、隣接地等周辺の状況などによって異なってくる。とかく「完全浄化」を求められがちな土地所有者・操業者の負担が一方的に重くならないよう、土壌汚染問題に直面している中小企業の事業継続・新技術への挑戦・生活再建の促進や、商・工・住

のバランスが取れた街づくりの観点も取り入れて、関係部局と連携して総合的な対策を講じていただきたい。

(2) 資金力の乏しい中小企業が法令を遵守して、土壌調査・浄化等の義務を果たすことができる社会的な仕組みをつくる必要がある。平成 18 年度に取り組まれている「土壌汚染に係る総合対策」に、産業振興・中小企業育成の観点も含めて、行政からの手厚い財政的援助を行うことが盛り込まれるよう、ご尽力いただきたい。とりわけ、調査については入り口に当たる部分であり、円滑に実施できる「仕組み」をつくっていただきたい。

【趣旨説明】

21 世紀は環境の世紀といわれ、今や地球規模で良好な環境を確保することは、人類共通のテーマであるとの認識のもとに、当業界では、従前から環境に十分配慮し、有害物質を扱う事業場においては、製造工程における有害物質の排気・排水・廃棄物（空気・水・土）の管理の徹底を図るなど、「環境との共生」に努めてきたところです。

私たちがめっき事業者は法令を遵守し、環境と共生しながら安定した経済活動を営み、モノづくりを支えていくことができるよう希望しています。したがって、法令の運用に当たっては業界や企業の実情に十分配慮していただきたいと願っています。

現在、めっき業界で最も大きな環境規制問題となっているのは土壌汚染対策です。土壌汚染対策法や東京都環境確保条例は、実行のときに適法であった行為による汚染や、原因不明の汚染についてまで現在の土地所有者・操業者等に調査義務・浄化措置義務等を課しており、義務を果たさない場合は刑事責任を問われます。

法律・条例によって義務付けられた土壌汚染調査や土壌浄化措置に要する費用は高額で、汚染の度合いによっては浄化に要する期間は長期にわたります。一昨年来、東京都環境局のご尽力により、低廉な価格で短期間に調査・浄化を行える技術が民間業者によって開発されつつありますが、そのような「低廉な」費用ですら負担能力のない小規模企業が多くを占めているのが業界の実情です。

そこで、「汚染者負担の原則」やいわゆる「ゼロリスク」にこだわることなく、費用負担能力の低い中小企業者に対して、法に定める「特別の配慮」、条例に定める「必要な助成措置」を踏まえて、土地利用の効果的指導や調査・浄化措置等を着実に実施するための手厚い財政援助などを中心とした、総合的な対策を講じられることをお願いするものであります。

2. 技能検定実施に関するお願い<産業労働局>

電気めっき技能検定(実技試験)の実施にあたって、検定委員及び補佐員のほかに必要な応援要員(組合員、職員)に係る経費を、東京都職業能力開発協会が当組合へ支払う技能検定業務協力経費の中に計上できるよう、予算措置をお願いしたい。

【趣旨説明】

近年、生産技術の進歩に伴い、めっき加工においてもますます高精度、高品質が要求されてきております。当組合では、働く人々の技能習得意欲を増進させ、その社会的・

経済的な地位の向上を図るとともに、めっき業界の技術・技能の振興を図るために、東京都職業能力開発協会から委託を受けて電気めっき技能検定の実技試験を実施しています。

実施に臨む態勢としては、18年度、検定委員6名、補佐員6名が委嘱されましたが、現実にはこれに加えて、8名の組合員(担当副理事長1名と技能教育委員7名)と11名の事務局職員、合計19名が応援し、総勢31名によって試験を実施しております。

これらの検定委員、補佐員及び応援要員は試験実施当日(土、日の2日間)のみならず、水準調整会議及びこれに続く実施要領・業務分担の確認会議、課題説明会(現場説明を含む)、リハーサル(設備、器具、薬品類の点検、確認を含む)等の業務に携わっており、組合員(めっき企業経営者)は少なくとも3日間を検定試験準備のために割かなければなりません。

しかし、能開協から当組合に支払われる協力経費のうち、委員手当・交通費は4日間、補佐員手当・交通費は3日間と算定されており、実態との乖離があります。応援に当たる組合員にいたっては、委員・補佐員とほぼ同じ活動をしているのに、まったくのボランティアということになります。委員、補佐員も含めた組合員は、本業を休むことができないため、休日返上で業務にあたっているのが実情です。

また、組合の日常業務に従事している事務局職員には、検定試験準備のため残業を余儀なくされるケースもしばしば見受けられますし、職員総数13名のうちの11名という多数の職員が2日連続で休日出勤せざるを得ないため、振替休日の取得等、組合業務に多大な影響が及びます。

技能検定制度の趣旨にかんがみ、業界も「応分の負担」をしなければならないことは承知しておりますが、国内産業の空洞化等の影響により組合員数が減少していく一方の当組合にとっては、現状における応援要員に係る経費負担は非常に重く、近年の受検者の4割以上(過去5年間の総数298名中123名で41.3%)を員外が占めている現状からも、負担を軽減していただける予算措置をお願いするものであります。

3. 水道料金・下水道料金の減額措置継続に関するお願い<水道局・下水道局>

めっき業に対する水道料金、下水道料金の減額措置が、平成19年度以降も継続適用されるよう、特別の配慮をお願いしたい。

【趣旨説明】

水はめっき業にとって大切な原材料であり、私たちは英知を結集して、水の循環利用や節水に努めてまいりました。また、排水についても、排水基準に従い、事業場において浄化処理を行ったうえで下水道に排出するなど、最大限、適正処理の努力を重ねてまいりました。

このため、排水のコストは加工生産額の約10%に達しており、仕事量が激減する中であって、その負担感がますます大きくなってきていることから、私達は従前より水道・下水道料金の減額措置をお願いしてまいりました。

その結果、都議会をはじめ、東京都の関係者各位のご理解とご協力により、めっき業

に対する水道・下水道料金の減額措置が講じられ、私達はその適用を受けて今日に至っています。ここにあらためて、厚く御礼申し上げる次第です。

私たちの業界が東京の産業をモノづくりの面から必死に支えている実情にご理解をいただき、水道・下水道料金の減額措置が平成 19 年度以降も継続適用されますよう、お願い申し上げます。

4. 多摩地域における下水道料金の減額措置に関するお願い

現在、東京 23 区内においては、めっき業に対する下水道料金の減額措置を講じていただいておりますが、多摩地域においては、めっき業に対する下水道料金の減額についての各市の対応はまちまちです。当組合としては、すべてのめっき事業者に公平な措置が講じられるよう、未対応の各市長へ減額の要望をしておりますので、都議会議員の皆様におかれては、関係市の議会への働きかけをお願いしたい。

【趣旨説明】

水はめっき業にとって大切な原材料であり、私たちは英知を結集して、水の循環利用や節水に努めてまいりました。また、排水についても、排水基準に従い、事業場において浄化処理を行ったうえで下水道に排出するなど、最大限、適正処理の努力を重ねてまいりました。

このため、排水のコストは加工生産額の約 10%に達しており、仕事量が激減する中であって、その負担感がますます大きくなってきていることから、私達は従前より水道・下水道料金の減額措置をお願いしてまいりました。

その結果、都議会をはじめ、東京都の関係者各位のご理解とご協力により、めっき業に対する水道・下水道料金の減額措置が講じられ、私達はその適用を受けて今日に至っています。ここに改めて、厚く御礼申し上げる次第です。

しかしながら、下水道料金については、23 区内の事業所は東京都下水道局の管轄であるため減額されるものの、多摩地域においては、市によってまちまちです。当組合の組合員事業所が所在する 14 市のうち、めっき業に対して下水道料金の減額に対応して下さっている市は 4 市であり、他の 10 市は未対応であります。

当組合はこれらの 10 市の下水道管理当局へ、多摩地区においてもすべての事業者に対して 23 区内と同様の措置が講じられるよう要望をしております。

多摩地域の下水道料金については、各市において市議会の議決を経て決定しておりますので、都議会議員の皆様におかれては、ぜひ、各市の市議会に対する働きかけをお願いいたします。

〔参考資料〕

減免措置あり:八王子、日野、多摩、小金井

減免措置なし:昭島、立川、武蔵村山、青梅、三鷹、調布、狛江、小平、東村山、
西東京

工組 第2回 広報委員会

HP個別事業所紹介ページ料金決定

と き 平成18年8月4日(金)
午後6時30分～7時
ところ 上野「伊豆栄」
出席者 姫野、神谷、半田
内山、板倉、藤田、石川、鈴木
広根、籠利、野田、岡
(専務理事)青木、小原
(事務局)島田、近藤

はじめに神谷委員長は「連日猛暑が続き、現場や仕事で汗だくとなり、疲労が重なっているなかをご出席頂き感謝申し上げます。今日は土用の丑であり、鰻で体力をつけて頂きたい。時間も限られているので協力をお願いしたい」と開会の挨拶。

姫野副理事長は「前回委員会では眼の病気で入院しみなさんにご心配を頂いたことを感謝申し上げます。お蔭様で退院し、眼の方も順調に回復している。今日は暑気払いであるが、たまたま土用の丑と重なり、鰻料理を味わって頂きたい」と挨拶。

1. ホームページ運営 状況について

事務局から組合HP運営状況を説明した。

1)エコアクション21(別掲)を7月1日よりHPに掲載した。

神谷委員長は、葛飾区ではこの取得を奨励し助成を行っている。大手企業との取引でも有効である等補足した。
2)めっき掲示板は昨年

12月からスパム(ウイルス)の書き込みにより中止してきたが、6月19日より再開したのでご利用頂きたい。技術等の問合せと回答など過去のデータをQ&Aとしてまとめている。
3)個別事業所紹介ページは、多額の費用をかけて自社HPを作っている事業所が多いことを勘案し年1万円の料金を決めた。これには基本フォームに基づいて作成する。

2. 広報8、9、10月号について

8月号は校正刷により内容を検討、9～10月号は台割により掲載内容を検討した。各常設欄の担当などそれぞれの内容を決めた。

半田副委員長は「この伊豆栄さんは亜鉛部会の総会で年1回使っている。今日は非常に暑い1日で、練馬では36℃を記録、当社工場にはスポットクーラー4台を設置しているが、2台がオーバーヒート、亜鉛めっき液を冷やす冷凍機もオーバーヒートして知らない間に温度が上がってしまった。まだ1ヶ月以上暑い日が続くと思うが、健康に気を付けて下さい」と述べて、乾杯音頭をとった。
和やかな歓談が続いたあと、藤田委員の中締めにより終了した。



エコアクション 21 とは

エコアクション 21 認証・登録制度は、ISO14001 規格をベースに、中小事業者にとって経費や労力の負担が少なく、簡易に環境への負荷改善を行うための手法として、環境省が策定したエコアクション 21 ガイドラインに基づいた認証・登録制度。

エコアクション 21 の構成

エコアクション 21 は 4 つのパートにより構成されている。この 4 つのパートにそって取り組むことにより、幅広い事業者が効率的にシステムを構築することができ、環境に関する取組の現状把握から、目的・目標の設定、管理、改割に至るまでの総合的な運用を図ることができる。

- 1.環境への負荷の自己チェックの手引き
- 2.環境への取組の自己チェックの手引き
- 3.環境経営システムのガイドライン
- 4.環境活動レポートガイドライン

エコアクション 21 に取り組むことのメリット

エコアクション 21 は、

- ・環境マネジメントシステム(中小企業等でも容易に取り組める環境経営システム)
- ・環境パフォーマンス評価(必要な環境への取組を規定)
- ・環境コミュニケーション(環境活動レポートの作成と公表)

の 3 要素がひとつに統合されたガイドラインであることから、環境への取組を総合的に進めることができ、また比較的容易、かつ効率的に取り組むことができる。

環境経営システムを構築・運用すれば、

環境負荷を下げるだけでなく、その過程で「体質強化」「業務システムの確立」「コスト削減」「社員の意識・やる気向上」に大きく役立ち、目標管理の徹底等、経営的にも効果をあげ企業の競争力強化につながる。

環境活動レポートを作成し、外部に公表することにより、利害関係者（取引売や一般消費者等）に対しての信頼性が向上する。また、近年大手企業などが取引先に対して環境への取組や環境経営システムの構築を求める例が増えており、これらの要求に対応することができる。

エコアクション 21 の認証・登録について

エコアクション 21 ガイドラインに基づき、取組を進めた事業者は、審査を受け認証登録をすることができる。

認証・登録期間は 2 年間で、登録 1 年後に中間審査、2 年以内に更新審査をそれぞれ受審することが必要。

登録料(2 年分)は、従業員数 10 人以下の事業者が 5 万円(別途消費税 2,500 円)、11 人以上 300 人以下の事業者が 10 万円(別途消費税 5,000 円)となっている。また、審査に当たっては、事業者の規模などにより、標準的には 10~30 万円程度の審査費用が必要となる。

(ISO14001 の認証取得費用の 1/10 程度)

エコアクション 21 事務局

(財)地球環境戦略研究機関持続性センター
〒100-0011 千代田区内幸町 2-2-1

TEL:03-3509-7903

URL:www.ea21.jp

土壌汚染対策に関し

鍍金振興議連、都産業労働局と懇談

東京都鍍金工業組合は7月14日(金)午後4時30分から都議会自民党控室で、鍍金振興議連の先生の同席を頂き、東京都産業労働局の方々と土壌汚染対策に係る産業振興策などについて話し合った。

出席者は都議会自民党鍍金振興議連会長の
大西英男議員、同副会長の服部ゆくお議員、同
幹事長の松原忠義議員、同幹事長代行の高島
なおき議員、同事務局長の三宅茂樹議員、同
事務局次長の矢島千秋議員、吉野利明議員。都
産業労働局から中井敬三総務局人事部長
(7/16 付)、新井洋平商工部長(7/16 付)、塚田金
融部長、組合から大村功作理事長、川上洋一
副理事長、志田和陽副理事長、青木治郎工組専
務理事、小原俊幸協組専務理事。

会は松原議員の司会により進められ、はじめに議連を代表して大西会長は「めっき業界の土壌汚染対策について東京都の産業政策として新たな歩みを進めて頂きたい。これまで地域産業の振興のためにめっき産業は先頭を切って頑張ってきたが、いま厳しい問題

を抱えており、中でも土壌汚染対策について1企業では負担出来ないような過度な環境規制がしかれている。産業振興、中小企業振興の観点の中で元気のいい企業を育てることも大事だが、従来からの企業もしっかり経営活動が出来るような環境を整備していくことをお願いしたい」と挨拶した。

大村理事長は「いつもお願いばかりで心苦しいが、土壌汚染問題は我々業界の存続に係る問題でありご支援をお願いしたい。この問題があるために我々の後継者がめっき業を継ぐか継がないか戸惑いを持っている。汚染されている土地を正当な評価で相続しなければいけないのか、次代を担う若い人達は疑問をもっている。また現状では廃業したくとも廃業出来ない状態である。少なくとも、工場敷地の利用として、駐車場か工場の建替えは出来るようにしてもらいたい。汚染が進まないようにするための工場建替えを認めて貰わないと、現工場で仕事をしながらでは難しい。この問題に対するご支援をお願いしたい」と



挨拶した。

次に、青木専務理事が組合の要望として、1) 土壤汚染地への対策は汚染物質の種類やその度合いのほか、当該地の用途地域、接面道路の状況、隣接地等周辺の状況などによって異なってくるため、工場跡地の有効な利用方法について、具体的、かつ適切な指導をお願いしたい。

2) 土壤汚染の概況調査に要する経費については、全額、東京都に負担して頂きたい。

と2つの要望の趣旨説明を行った。

このあと、土壤汚染問題に関わる土地の評価、銀行の融資姿勢などについて活発な意見交換を行い、議員からは、めっき業は重要な産業であり、その位置付けを認識して東京都は対応してほしいとの意見を頂いた。

最後に松原議員から、この問題に対して党を挙げて対応していきたいとの挨拶を頂き懇談を終了した。

土壤汚染対策に関するお願い

<環境局・産業労働局>

(1) 土壤汚染地への対策は汚染物質の種類やその度合いのほか、当該地の用途地域、接面道路の状況、隣接地等周辺の状況などによって異なってくるため、工場跡地の有効な利用方法について、具体的、かつ適切な指導をお願いしたい。

(2) 土壤汚染の概況調査に要する経費については、全額、東京都に負担していただきたい。

【趣旨説明】

当業界では、従前から環境に十分配慮し、有害物質を扱う事業場においては、製造工程における有害物質の排気・排水・廃棄物(空気・水・土)の管理の徹底を図るなど、「環境との共生」に努めてきたところです。私たちめっき事業者は、今後も法令を遵守し、環境と共生しながら安定した経済活動を営み、モノづくりを支えていくことができるよう希望しています。

現在、めっき業界で最も大きな環境規制問題となっているのは土壤汚染対策です。土壤

汚染対策法や東京都環境確保条例は、実行のときに適法であった行為による汚染や、原因不明の汚染についてまで現在の土地所有者・操業者等に調査義務・浄化措置義務等を課しており、義務を果たさない場合は刑事責任を問われます。

法律・条例によって義務付けられた土壤汚染調査や土壤浄化措置に要する費用は高額で、汚染の度合いによっては浄化に要する期間は長期にわたります。一昨年来、東京都環境局のご尽力により、低廉な価格で短期間に調査・浄化を行える技術が民間業者によって開発されつつありますが、そのような「低廉な」費用ですら負担能力のない小規模企業が多くを占めているのが業界の実情です。そこで、とかく「完全浄化」を求められがちな土地所有者・操業者の負担が一方向的に重くならないよう、土壤汚染問題に直面している中小企業の事業継続・新技術への挑戦・生活再建の促進や、商・工・住のバランスが取れた街づくりの観点も取り入れて、区市町村の窓口も含め、土地利用に関する相談・指導体制の一層の充実を図っていただくことをお願いします。

また、費用負担能力が低く、資金力の乏しい中小企業が法令を遵守して、土壤調査・浄化等の義務を果たすことができる「社会的な仕組み」をつくる必要があります。平成18年度に取り組まれている「土壤汚染に係る総合対策」に、産業振興・中小企業育成の観点も含めて、行政からの手厚い財政的援助を行うことが盛り込まれることを期待します。とりわけ、調査については入り口に当たる部分であり、全額、都において負担していただくようお願いします。

以上、「汚染者負担の原則」やいわゆる「ゼロリスク」にこだわることなく、法に定める「特別の配慮」、条例に定める「必要な助成措置」を踏まえて、土地利用の効果的指導や調査・浄化措置等を着実に実施するための手厚い財政援助などを中心とした総合的な対策を講じられることをお願いするものであります。

技能検定実技試験実施

東京都鍍金工業組合技能教育委員会(志田和陽委員長)は、東京都職業能力開発協会の委託を受けて7月22(土)、23(日)の両日、めっきセンター地階会場で平成16年度電気めっき技能検定1級、2級の实技試験を実施した。

受検者は1級組合員9名、員外1名の計10名、2級組合員29名(欠席3名)、員外22名(欠席2名)の計56名の合計66名(欠席5名)である。

技能教育委員会では試験に先立って、6月8日、水準会議、誘導、試料、分析、ニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析、厚み測定、判定等の業務分担を確認。7月1日受検者に対する課題説明、7月12日リハーサル及び最終チェックなど準備を整えた。

試験は、まず2階待合室で受検者は着替えなどして試験開始時間まで待機、その間誘導係から注意事項の説明を受けて、3人1組で順次試験に臨んだ。

試験内容は、1級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析(不調液調整)、2級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析(中和滴定)である。



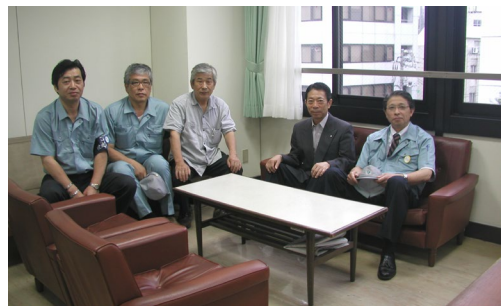
(1級分析(不調液調整))



(治具作製)



(ニッケル・クロムめっき)



(陣中見舞い)

試験日には中央職業能力開発協会・東京都職業能力開発協会係官の視察、組合本部からは大村理事長はじめ役員が陣中見舞いに訪れ、試験運営に当たる各委員に激励の言葉をかけた。

組合員各位

亜鉛めっき部会講習会開催のお知らせ

東京都鍍金工業組合
亜鉛めっき部会
会長 菊池 忠男

亜鉛めっき部会(菊池忠男会長)は、昨年と同様に、東京都鍍金工業組合(大村功作理事長)との共催により「三価クロム化成処理に伴う排水処理の留意点と分析事例」の講習会を下記のとおり開催します。組合員皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木)午後 6 時 30 分より
会 場 めっきセンター 4 階 会議室
演 題 『三価クロム化成処理に伴う排水処理の留意点と分析事例』
講 師 株式会社 共立理化学研究所 取締役 開発部 部長 奥村 浩氏
申込方法 下記申込書にご記入のうえ、FAX にて送付して下さい。
申込締切日 平成 1 8 年 8 月 3 1 日(木)
定員 60 名になり次第締め切らせていただきます。
対 象 亜鉛めっき部会員および工業組合員と、その従業員
会 費 お一人様 1,000 円 (軽食・飲み物・テキスト付)
(会費は当日ご持参ください。)
問い合わせ 東京都鍍金工業組合
事務局 / 近藤 TEL03-3814-5621 FAX03-3816-6166

平成 18 年 9 月 14 日開催 講習会出席申込書

支部

会社名

氏名

出席者数

名

※出席者が複数の場合は、出席者氏名を余白にご記載願います。

※お申し込みは、この用紙でFAX(03-3816-6166)にてお願いします。

9月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	金			葛飾支部	
2	土	訓練校修了生講演会			
3	日				
4	月		大田支部	城東支部	
5	火	監事会		城北支部	
6	水		品川支部・大田支部	中央支部	全鍍連環境対策委員会
7	木	環境委員会		足立支部	
8	金		城南支部	葛飾支部	
9	土				
10	日				
11	月	正副理事長会・理事会	城西支部	西部支部	
12	火			目黒・世田谷地区	
13	水		城西支部・城北支部	品川地区	健保事業運営委員会
14	木	亜鉛部会講習会			
15	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	
16	土				
17	日				
18	月	敬老の日			
19	火			向島支部	
20	水		向島支部	本所支部	十日会例会
21	木	合同役員会・顧問相談役会			
22	金		西部支部	葛飾支部	
23	土	秋分の日			
24	日				
25	月		城東支部・葛飾支部		
26	火			蒲田・大森地区	
27	水		葛飾支部	城西支部	中央支部例会
28	木				
29	金		足立支部	葛飾支部	
30	土				

(役員会、委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認下さい)

9月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00 C:17:00～20:30 D:17:00～21:20)				
日	曜	時	科目	内容(予定)
1	金	A	無電解めっき① (特殊めっき法)	無電解ニッケルめっきの析出原理、めっき皮膜の性質、めっき作業、浴管理、不良対策 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		B	後処理① (めっき法)	クロメートの皮膜構成と処理法、代替クロメート皮膜と処理法、耐食性等。(資)東亜鍍金工場 川上洋一
5	火	A	無電解めっき② (特殊めっき法)	無電解ニッケルめっき浴の作製、各種素材による実験、合金めっき等 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		D	労働安全法規① (安全衛生)	労働安全衛生法、有機溶剤と特定化学物質及び四アルキル鉛等障害予防規則。 鍍金組合環研 長嶋政人
8	金	A	無電解めっき③ (特殊めっき法)	無電解銅、無電解コバルト、その他無電解めっきの構成、廃液処理等。 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		D	有機溶剤(医学)② (安全衛生)	有機溶剤による健康障害、その予防処置と応急措置、各論。 岡村勝郎、石川辰雄
12	火	A	すず・接合めっき① (めっき法)	すずの性質、すずめっきの特徴、すずめっき浴の種類と酸性浴等。 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	有機則(環境)③ (安全衛生)	作業環境の測定評価と改善、局所排気装置、急性中毒の原因と防止対策等。 鍍金組合環研 志賀孝作
15	金	A	すず・接合めっき② (めっき法)	アルカリ性浴の特長、浴管理法、すずのウイスキー等。 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	特定化学物質(医学) (安全衛生)	特定化学物質及び四アルキル鉛による障害の原因、症状、救急措置と対応策等。 岡村勝郎、石川辰雄
19	火	A	すず・接合めっき③ (めっき法)	はんだめっき浴、鉛レスはんだ浴とそのめっき条件等。 【定期試験②】 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	特化則(環境)⑤ (安全衛生)	特定化学物質及び四アルキル鉛による健康障害と防止、環境管理、局所排気装置と点検等。 鍍金組合環研 志賀孝作
22	金	A	合金めっき① (めっき法)	原理、単極電位、合金の析出形態、合金めっき共通の諸特性。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	保護具⑥ (安全衛生)	特化物作業及び有機溶剤作業の保護具の構造、規格、使用方法、管理等。 鍍金組合環研 長嶋政人
26	火	A	合金めっき② (めっき法)	装飾用合金めっきの浴組成とめっき特性等。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	作業環境⑦ (安全衛生)	特化物及び有機溶剤の作業環境の測定、評価と改善。 【特化則等試験】 鍍金組合環研 長嶋政人
29	金	A	プラスチック上のめっき① (めっき法)	不導体の金属化、プラスチックの種類、ABS樹脂のめっきの密着機構等。 奥野製薬工業(株) 佐藤一也
		B	プラスチック上のめっき② (めっき法)	めっき工程、アニーリング、プリエッチング、めっき工程、品質管理、エンジニアリングプラスチック。奥野製薬工業(株) 佐藤一也

※聴講料は1科目クーポン券3枚、または7,500円です。

東鍍工組第9回親睦ゴルフ大会

西部支部の岡正典氏優勝

東京都鍍金工業組合第9回親睦ゴルフ大会が7月2日(日)、栃木市のプレステージカントリークラブで、各支部組合員、材料協組の参加を得て、総勢 123 名で盛大に開催された。

朝 8 時 10 分開会式を行い、記念撮影後、高倉利守競技委員長からルール(新ペリアル方式)等の説明があり、8 時 52 分からイン、アウトコースそれぞれ 4 人 1 組でスタートした。

午後 5 時頃、各組のプレーが終了しクラブハウスで成績発表とパーティを行った。遠藤清孝実行委員の司会により、はじめに大村功作理事長は「第9回を数えるゴルフ大会に大勢の参加を頂き盛大に

開催できたことを感謝申し上げます。第1回の大会は私が実行委員長を務めさせて頂いたが、組合の理事長室には第1回からの集合写真が飾ってある。昨年私はぎっくり腰になって欠席したが、今回は実行委員長の姫野副理事長が眼の病気で手術を受けて本来なら参加する予定であったが、治療が長引き大事をとって欠席している。みなさんによりよく伝えてくださいということで本人も残念がっていると思う。ゴルフはきつく、つらいが、こんなに楽しいスポーツはないと思う。4人で1日和気藹々とお付き合い出来、童心に返って全てのことを忘れてゴルフに打ち込み、楽しい1日が過ごせる。私はパ



トナーのみなさんに感謝している。私も2年ぶりのゴルフで、スタートで空振りしたら困るなあと心配していたが、終わってみると何とか1日無事に終わり、心地よい疲れに浸っている。お蔭様で組合事業もスムーズに運営している。みなさんも今日はお疲れさまでした」と挨拶した。

由田猛副理事長は「みなさんお疲れさまでした。120名を超える大会は組合の結束力の表われだと思う。今年はホールインワンはなかったが、間近に達した人が何人かいたので時間の問題かと思う。みなさんのご健勝を祈念する」と乾杯の音頭をとった。

個人戦・団体戦の成績等は別掲のとおりで、個人戦では岡正典氏(西部支部(株)三鷹金属化工所)が優勝、コシヒカリ3俵を獲得した。団体戦は各支部上位8名の合計スコアで争い大田支部が優勝。レディース優勝は姫野郁江氏(西部支部・京王電



(個人戦優勝の岡正典氏)

化工業(株)、シニア優勝は昨年に続いて石川輝夫氏(葛飾支部(株)ヒキフネ)、そのほか上位10位、20、30、40位等の飛賞、ぞろ目賞、正副理事長賞、ベストグロ賞、ブービー賞、ニアピン、ドラコン、ドラタンなど各賞が贈られた。

最後に八幡順一副理事長の閉会の挨拶で大会を終了した。



第9回親睦ゴルフ大会・個人・団体戦の成績

順位	氏名	支部	GROSS	HDCP	NET	順位	氏名	支部
優勝	岡 正典	西部	78	9.6	68.4	37位	高村 昌利	西部
2位	高倉 利守	品川	79	9.6	69.4	38位	斎藤喜久夫	城南
3位	志田 矩昭	大田	93	21.6	71.4	39位	今泉 好隆	城北
4位	内藤 隆夫	大田	89	16.8	72.2	40位	谷口 光洋	城南
5位	戸塚 秀孝	城西	76	3.6	72.4	41位	石崎 利一	向島
6位	姫野 郁江	西部	92	19.2	72.8	42位	下田 篤	品川
7位	渡辺 健一	城西	91	18.0	73.0	43位	上村 福子	材料
8位	豊田 金造	足立	97	24.0	73.0	44位	田 稔 洋	大田
9位	磯村 博明	足立	91	18.0	73.0	45位	平野 尚美	城北
10位	安西健一郎	本所	90	16.8	73.2	46位	孤塚 保之	葛飾
11位	小松 康宏	材料	95	21.6	73.4	47位	石川 英孝	葛飾
12位	滝本 正二	城西	88	14.4	73.6	48位	渡辺 猛宏	大田
13位	葛西 康二	大田	99	25.2	73.8	49位	大木美津男	向島
14位	大和田昌宏	城北	92	18.0	74.0	50位	小澤 雅良	足立
15位	萩坂 清一	大田	98	24.0	74.0	51位	島村 一男	西部
16位	小島 一浩	足立	86	12.0	74.0	52位	石川 茂夫	本所
17位	石川 輝夫	葛飾	91	16.8	74.2	53位	玉村聡二郎	材料
18位	大沢 俊孝	大田	91	16.8	74.2	54位	小西 博文	城南
19位	中田 充彦	葛飾	103	28.8	74.2	55位	西原 敬一	西部
20位	久保 和克	城西	84	9.6	74.4	56位	広根 淳一	葛飾
21位	石川 芳英	足立	90	15.6	74.4	57位	内藤 喜達	大田
22位	関根 利定	葛飾	95	20.4	74.6	58位	藤田 嘉雄	城南
23位	久力智恵子	材料	89	14.4	74.6	59位	菅野 勝靖	品川
24位	小倉 攻一	葛飾	83	8.4	74.6	60位	原口 哲洋	足立
25位	小口順一郎	大田	94	19.2	74.8	61位	伏原 明人	城南
26位	佐久間隆太郎	向島	100	25.2	74.8	62位	江原 一美	大田
27位	丹治幹三郎	材料	100	25.2	74.8	63位	寺内 倉治	葛飾
28位	成瀬 邦彦	西部	93	18.0	75.0	64位	縄田 敏治	足立
29位	高橋 利行	城西	81	6.0	75.0	65位	関根 征子	葛飾
30位	間部健一郎	中央	81	6.0	75.0	66位	鈴木 厚生	材料
31位	宮川 容子	大田	104	28.8	75.2	67位	矢野 尚武	葛飾
32位	中嶋 規夫	西部	86	10.8	75.2	68位	大内 源司	西部
33位	遠藤 清孝	城東	91	15.6	75.4	69位	田中 秀和	城西
34位	杉江 一郎	向島	97	21.6	75.4	70位	中澤 正明	材料
35位	木下 健次	城東	90	14.4	75.6	71位	篠崎 賢吾	向島
36位	齋藤 弘	中央	96	20.4	75.6	72位	横山 幹夫	西部
						73位	太田 良江	葛飾

74位 角田 洋久 西部
 75位 齋藤 功 中央
 76位 岩井 孝之 向島
 77位 大村 功作 城南
 78位 小山 六郎 材料
 79位 小澤 栄男 足立
 80位 太田 彗一 葛飾
 81位 小澤 陽子 足立
 82位 永安 裕之 城西
 83位 田島 一夫 城北
 84位 田代 政明 西部
 85位 金子 俊明 大田
 86位 池田 潤一 大田
 87位 小谷野英勝 城南
 88位 下平 誠 中央
 89位 由田 猛 城西
 90位 間宮 勝 材料
 91位 稲田 晴喜 材料
 92位 石田 昌久 向島
 93位 半田 實 西部
 94位 佐藤 富幸 大田
 95位 岩永 美浩 向島
 96位 川合 彰 大田
 97位 上原 裕司 城北
 98位 岩井 春治 向島
 99位 中澤 敏明 城南
 100位 遠藤 典夫 城東
 101位 岡 成行 材料
 102位 山田英佐夫 本所
 103位 梅田 輝幸 材料
 104位 神谷 博行 葛飾
 105位 新井 浩二 城西
 106位 平野普三雄 城北
 107位 若山 満 城南
 108位 石田 勝義 城西
 109位 間部 憲司 中央
 110位 柴田 徹 葛飾
 111位 海野 吉正 城北
 112位 狐塚 寛之 葛飾

113位 宍戸富士男 城北
 114位 藤沼 靖智 向島
 115位 志田 和陽 大田
 116位 仲俣 基樹 城東
 117位 岡本 博司 本所
 118位 野上 敬 城北
 119位 上田 浩司 城北
 120位 八幡 順一 城東
 121位 藤田 直人 品川
 122位 小嶋 摂郎 中央
 123位 木村 秀利 城南

ドラゴン賞

岡 正典(西部)、小倉攻一(葛飾)
 伏原明人(城南)、斉藤 弘(中央)
 間部健一郎(中央)、安西健一郎(本所)
 原口哲洋(足立)、中澤正明(材料)

ドラ短賞

太田良江(葛飾)、池田潤一(大田)
 篠崎賢吾(向島)、佐藤富幸(大田)
 平野尚美(城北)、田代政明(西部)
 海野吉正(城北)

ニアピン賞

内藤隆夫(大田)、豊田金造(足立)
 久保和克(城西)、神谷博行(葛飾)
 関根利定(葛飾)、高倉利守(品川)×2
 岩井孝之(向島)

団体戦結果

※各支部上位8名の合計スコア

順位	支 部	スコア
優勝	大田支部	591.8
2優	西部支部	598.2
3位	足立支部	604.0
4位	葛飾支部	604.2
5位	城南・品川支部	604.6
6位	城西支部	606.6
7位	城東・中央・本所支部	610.2
8位	向島支部	621.0
9位	城北支部	647.2

ベストグロス賞 戸塚秀孝(城西)72.4
レディース優勝 姫野郁江(西部)72.8
シニア優勝(65歳以上)
 石川 輝夫(葛飾) 74.2(91)
ブービー賞(122位)
 小嶋撰郎(中央) 104.0(137)
当日賞(72位)
 横山幹夫(西部) 78.4(94)
元気で賞(昭和10年までの生れの方)
 小口順一郎(大田)、篠崎 賢吾(向島)
 寺内 倉治(葛飾)、関根 利定(葛飾)
 岩井 春治(向島)、太田 寿一(葛飾)
正副理事長賞
大村功作理事長賞(2本)
 岩井孝之(向島)、小山六男(材料)
姫野正弘副理事長賞 滝本正二(城西)
由田 猛副理事長賞 稲田晴喜(材料)
川上洋一副理事長賞 石川芳英(足立)
間部健太郎副理事長賞 大内源司(西部)
八幡順一副理事長賞 藤田直人(品川)
志田和陽副理事長賞 仲俣基樹(城東)

飛び賞
 萩坂 清一(大田)、久保 和克(城西)
 小口順一郎(大田)、間部健一郎(中央)
 木下 健次(城東)、谷口 光洋(城南)
 平野 尚美(城北)、小澤 雅良(足立)
 原口 哲洋(足立)、関根 征子(葛飾)
 中澤 正明(材料)、斉藤 功(中央)
 太田 寿一(葛飾)、金子 俊明(大田)
 間宮 勝(材料)、岩永 美浩(向島)
 遠藤 典夫(城東)、新井 浩二(城西)
 柴田 徹(葛飾)、志田 和陽(大田)

ぞろ目賞
 小松康宏(材料)、関根利定(葛飾)
 遠藤清孝(城東)、田糶 洋(大田)
 西原敬一(西部)、鈴木厚生(材料)
 大村功作(城南)、下平 誠(中央)
 中澤敏明(城南)、海野吉正(城北)

平成18年度 12支部親睦ゴルフ大会収支報告

開催場所：プレステージカントリークラブ

収入の部		支出の部	
前回繰越金	21,549円	パーティー費合計	510,305円
会費6,000円×123名	738,000円	(料理2,625円×123名)	322,875円
(寄付金)		(飲み物・洋フード)	187,430円
東京都鍍金工業組合	50,000円	賞品代合計	635,086円
東京鍍金公害防止協同組合	50,000円	(各順位賞品合計)	321,766円
正副理事長10,000円×7名	70,000円	(参加賞123名)	232,470円
各支部より10,000円×12支部	120,000円	(正副理事長賞7個)	80,850円
参加材料協同組合員様より	48,000円	その他合計	10,000円
日本鍍金材料協同組合	20,000円	(写真代)	10,000円
関東めつき健康保険組合	10,000円	次期繰越金	15,158円
関東鍍金工業厚生年金基金	10,000円		
罰金より寄付	33,000円		
合計	1,170,549円	合計	1,170,549円

ザ・商談！し・ご・と 発掘市 工業版 受注希望企業の募集

<募集要項>

日 時：平成18年10月24日(火)10:00～
17:00

場 所：東京商工会議所ビル
(千代田区丸の内3-2-2)

商談テーマ：金属製品、機械器具、関連業種—
加工、組立、試作、供給

主 催：東京、川崎、相模原、川口、さいたま、
草加、船橋、宇都宮、小山の各商工
会議所

参加資格：上記主催商工会議所の会員製造業
(東京都鍍金工業組合・東京会員)

商談形式：1商談25分の総入替制
(事前スケジュール制)

参加費：1,000円/件(エントリー、商談申
込は無料)(交流会は500円/人)

申込方法：以下のフローで参加して頂きます

- ①エントリーして発注案件情報を入手
- ②案件を検討して参加申込
- ③事前スケジュールに沿って商談

募集企業数：200社

申込締切：9月22日(金)

※エントリーは早めにお済ませください。

※定員に達しますと締切前でも募集を終了さ
せて頂きます。

<参加予定の発注企業>

アトーテック、一幸電子工業、エーエス、S
MK、梶原工業、小原歯車工業、サキコーポ
レーション、サニー・トレイディング、三機
工業、サンノハシ、シノザワ、昭特製作所、
太陽日酸、タツノ・メカトロニクス、THK、
東京エンジニアリング、東京ラミネックス、
中川製作所、七星科学研究所、南真化学工業、
パール技研、富士フィルター工業、フジマツ
ク、前川製作所、ミツル光学研究所、三輪工

業、山之内製作所、吉田精機、YSK(8/3 現
在、50音順。当日までには10社程度の追加
がある予定、順次UP)

<前回参加者の声>

新越精機(株)代表取締役 藤塚悟さん「商談
会後の個別面接を経て数社から受注した。こ
の商談会は参考になるし、やる気があれば仕
事がとれると感じている。また、受注企業同
士の交流会では有益な情報交換が行え、勉強
になった。」

詳しくは：<http://www.tokyo-cci.or.jp/>

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

青木東正様(城西支部・(株)青木メタル前会
長、青木弘光社長のご尊父)7月25日正午
死去、91歳。告別式は28日正午より愛染
院会館で行われた。喪主は弘光氏。

笈沼二郎様(葛飾支部・(有)笈沼鍍金工業所
社長)8月7日くも膜下出血のため死去、
45歳。告別式は9日午前9時より高林葬
斎式場で行われた。喪主は二男の聖和氏。

和気セン様(葛飾支部・(有)和気工業所和気
晴幸社長のご母堂)8月10日死去、79歳。
告別式は14日午前10時からササケ玉泉
院城東会館で行われた。喪主は晴幸氏

並木一様(城南支部・(有)寿
豊並木秀幸社長のご尊父
組合相談役)8月12日死
去、93歳。告別式は17



日午前10時から桐ヶ谷
斎場で行われた。葬儀委員長は大村功作
理事長、喪主は秀幸氏。

並木様は昭和50年から54年まで組合本
部常任理事・財務委員長等を歴任され、組
合運営に尽力された。

METEC'07 第36回表面処理材料総合展開催に当り出展のご案内

日本鍍金材料協同組合(間宮勝理事長・METEC 実行委員会)は、このほど本年METEC'06 開催中止のお詫びとともに新たに来年の開催予定と出展募集案内を発表した。

当組合で本年5月に開催予定でありました、「METEC'06 表面処理材料総合展」は諸般の事情により急遽開催中止をいたしまして、出展者及び関係各位に多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、ここに改めてお詫び申し上げます。

その後、各方面より来年以降の開催を望む声が多くあり、METEC'07の開催を検討してまいりました結果、このたび、来年2月21日(水)～23日(金)までの3日間、東京・有明の「東京ビッグサイト(東京国際展示場)」で開催される「ASTEC2007 国際先端表面技術展・技術会議」との共同開催が合意に達し、「METEC'07 第36回表面処理材料総合展」を開催するに至りました。

ご案内のとおり、「ASTEC2007」は、世界最大のナノテク総合展である「nanotech2007 国際ナノテクノロジー総合展・会議」、バイオとの融合ビジネスである「ナノバイオ Expo2007」、高機能性素材・高付加価値技術の「nano&neo 新機能性材料展」と同時開催しており、今年の来場者は、4 展示会を合わせて45,868人でした。

今回、表面処理資機材の総合展である「METEC」が同時開催することになり、出展者ならびに来場者におかれましては、より一層の市場エリアの拡大とともに大きなビジネスチャンスが生まれるものと確信しております。

「METEC'07」では、これまでどおり“顔の見える取引と情報交換・交流の場”をコンセプトに表面処理関連材料を一堂に集め展示し、需要先である表面処理加工業者並びにそ

の発注先であるユーザーとともに交流と商談の場としての役割を担って開催したいと考えております。是非、METEC'07 第36回表面処理材料総合展にご出展賜りますようご案内申し上げます。

名称：METEC'07 第36回表面処理材料総合展

会期：2007年2月21日(水)～23日(金)

時間：10:00-17:00

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

主催：日本鍍金材料協同組合

(株)ICS コンベンションデザイン

協賛：全国鍍金工業組合連合会

予定来場者数：45,000名※同時開催
ASTEC2007・nano tech2007・ナノバイオ
ExPo2007・nano&neo 新機能性材料展含む
入場料：3,000円(但し、Webサイトで事前登録された方は入場無料)

同時開催展示会

ASTEC2007 国際先端表面技術展・会議

www.ics-inc.co.jp/astec/

nanotech2007 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

www.ics-inc.co.jp/nanotech

ナノバイオ Expo2007 www.ics-inc.co.jp

[nanobio/](http://www.ics-inc.co.jp/nanobio/)

nano&neo 新機能性材料展 www.kinousei.com/02

com/02

<出品対象>

1. 表面処理薬品・材料・装置関係
めっき、アルマイト、塗装、塗料、溶射、気相、真空めっき、エッチング、フォトリソグラフィ、プリント配線板、熱処理、化成処理、硬化、環境保全、除害・保安などの薬品・材料・装置など。

2. 表面処理製品・加工技術関係
上記表面処理を施した製品、加工技術などの展示、宣伝など加工専門家の技術に関するも

の。

3. 表面処理関係の試験・検査・研究用機器・機材関係

表面処理関係の試験・検査・研究に関する機器・機材及び試験・検査・研究の受託などの展示・紹介など

4. その他表面処理に関するもの

<併催企画>

1. 加工品展示コーナー

表面処理プロセッサが自信をもって紹介する技術、製品(部品、実装など)を展示する加工品展示コーナーを設置します。

2. 技術・製品相談コーナー

表面処理加工業者ならびにその発注先であるユーザーのための技術・製品相談コーナーを設置します。生産技術上の問題やトラブル対策、品質向上などのご相談に応じます。

3. ラッキープレゼントコーナー

ご来場者へのサービスとして、豪華賞品が当たるお楽しみスピード抽選コーナーを設置します。

<出展要項>

■小間仕様

1小間9㎡(間口3m×奥行3m×高さ2.7m)スペースと隣接小間仕切りパネル

※但し、角小間の場合、通路側のサイドパネルはつきません。必要の際はオプション申込になります。(有料)

■小間配置の決定

お申込順にてご希望の場所を選定できます。

「展示レイアウト」から、ご希望の番号を「出展申込書」に記入の上、事務局宛へ FAX にてお申込みください。尚、申込後、翌日にはホームページ上に出演者名・配置場所を掲載致しますが、同一場所・同一日に複数の申込が重なった場合は、お申込時間が早い出展者を優先とさせていただきますので、予めご了承ください。

■パッケージブース(オプション)

基礎装飾・備品をセットにしたパッケージブ

ース(オプション)を用意します。

1 小間ブースプラン:108,000 円(税別)

2 小間ブースプラン:158,000 円(税別)

詳細は 11 月に配布します「出展の手引き」を参照ください。

■出展者セミナー(有料)

出展者による最新製品・技術情報の PR・プレゼンテーションの場として活用ください。料金 60,000 円(税別)/1 セッション:45 分 次の内容が料金に含まれております。

1.シアター150 席の会場(展示会場内特設会場)

2.プレゼン用スクリーン&プロジェクター(但しノート PC は出展者にて持込み下さい)

3.音響機器(マイク 2 本+スピーカー)

■申込方法

「出展申込書」に必要事項をご記入の上、事務局宛へ FAX にてお申込みください。

1.申込締切日:2006 年 10 月 31 日(火)

※但し、期日前でも予定小間数になり次第締切ますので、お早めにお申込みください。

2.入金締切日:2006 年 11 月 30 日(木)

3.出展申込の取消:出展申込書提出後の取消は原則として出来ません。

※但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、次の基準で解約料をお支払い頂きます。書面による解約通知を受領した日を基準とする解約料率。2006 年 11 月 30 日(木)・請求額の 50%、2006 年 12 月 1 日(金)以降・請求額の 100%

<申込先>METEC 実行委員会事務局

株式会社 ICS コンベンションデザイン内

〒101-8449 東京都千代田区神田錦町 3-24

住友商事神保町ビル

TEL:03-3219-3564 FAX03-3292-1813

Email:metec@ics-inc.co.jp

十日会 ニシハラ理工(株)・京王電化工業(株)を見学

十日会(太田幸一会長)は、7月14日(金)会員 28 名が参加して工場見学会を行った。

見学先は西部支部のニシハラ理工(株)(西原敬一社長)との京王電化工業(株)(姫野正弘社長)。

見学会は貸切バスにより湯島のめっきセンターから見学先を訪ねた。車中、太田会長は「本日は大いに勉強して有意義な1日を過ごして頂きたい。会長に就任して3ヶ月になるが、お腹を見ながら貫禄がついてきたと言われるが(笑)、普段みなさんから元気を頂きながらパワーがついてきたと思う。このパワーをみなさんに還元できるように努めていきたい」と挨拶した。

はじめにニシハラ理工(株)本社・武蔵村山工場を見学。同社は国内に本社・武蔵村山工場のほか狭山工場、佐賀工場の3工場があり、リードフレーム、コンデ

ンサ、コネクタなどの半導体、電子部品を中心としためっき加工を試作から量産まで自社開発のソフトとハードで対応している。品質・環境のシステムを構築し、ISO9001:2000 及び ISO14001:2004 の認証を取得、システムの運用・管理を徹底するとともに、さらなる品質の向上を目指して研究開発に努めている。

部品の実装に適した接合剤としてのめっき技術は、パソコンや携帯電話をはじめ自動車部品など多くの電子機器に搭載されている。ノウハウを形に変えた独自の機構をもつ生産装置は、設計から製作・立ち上げまでを同社で管理している。

同社見学後、深大寺で副理事長の姫野正弘社長の出迎えを頂き、水神苑で昼食をとった。姫野社長は「深大寺は浅草寺に次いで古い寺といわれ、縁結びの神様である。寺に隣接して東京都の植物園がある。深大寺そばは有名であるが、こ





(深大寺で昼食)

の辺りには 25、26 軒のそば屋さんがある。今日は限られた時間であるが、弊社工場を十分にご覧頂きたい」と挨拶した。

京王電化工業(株)は一貫して優れた機能めっきを目標に、ユーザーのニーズに合った表面処理を行っている。また、いち早く環境保全に取り組み、完全無公害工場はもちろん、三価クロムの導入、鉛フリーハンダ対応錫めっき、ハンダぬれ性に優れた新ニッケルめっきなど、環境にやさしいめっきを実現している。本年 6 月 19 日には ISO14001 を取得した。

平成 16 年 11 月には従来不可能とされていた回転バレル式三価クロムめっきの量産技術を開発した。バレル処理を開発したことで、現状の取り付け作業工程が完全に省略され、一度の処理で現況工法の 20 倍以上の大量生産が可能となり、大幅なコストダウンが見込まれるという。

さらに、平成 17 年 11 月には同社が独自に開発した三価の亜鉛めっき緑色クロメート(オリーブクロメート)の生産を開始、三価黒色クロメートの 3 倍の耐食性を誇っている。この三価緑色クロメートは本年 7 月 1 日経済産業省実用化研究開発のテーマにも採択された。

工場見学後、新宿センタービル 53 階の南欧料理の「ダイニング アウト 53」で懇親会を行った。

靖国神社問題と中国思想

組合相談役 江原 猛二



1940年 昭和15年3月【南京】中国新政府が樹立されてから70年が経過しようとしているが、中国思想が理解できず相変わらずくすぶっている。

1972年 田中首相の訪中で[日中平和友好条約]約束が出来た。翌年2月初めて中国旅行が許可されたので早速参加した。上海、南京、済南、北京、20日間の旅であった。熱烈歓迎で大変なサービスには予想外で驚いた。

当時の中国旅行は全行程随行員が添乗したが旅行に関しては無口であった。

その後も毎年中国旅行に参加した。次第に全行程随行員とも話すようになり、随行員の資格が分った。中国政府の要人で北京大学、外語学部のエリートである関係で特別の場合以外は会話を避けていたが、次第に親しくなり会話をするようになった。気持ちが和らいだ所で中国の烈士に対する敬神の状態を尋ねた。

感謝の念でお参りする。日本人が靖国神社にお参りするのとはなぜ反対なのと尋ねてみた。彼は靖国神社のお参りを反対しているのではないと回答してきた。戦犯者を靖国神社に祭ることを反対しているのであって靖国神社の参拝を反対しているのではないとの回答であった。

当時は内政干渉だと僕はきめつけていたが、その後靖国神社問題は外交問題にまで関連してくるので、昭和15年の時代を回顧することにする。

南京の第十五軍司令部の機密事項で秘匿され一般には公開されない事件である。

日中講和条約に反対したことに対して日本兵の下士官が抜刀して官邸に飛び込み、板垣を出せと叫んだ事件があった。

中国新政府樹立問題の真相を回顧してみると原因のある事に気付く。

日本軍占領地、南京に中国新政府樹立には、外交上の取引があったのだ。

当時の戦況及び国際情勢、日本国の経済状況、イデオロギー問題等で中国戦線の講和が必要になり「中国新政府の樹立が計画されたのである」

中国は国共合作で日中戦争に突入したが、日本軍の攻撃で南京、重慶戦線に破れ三峡を境に重慶に転進した関係で中国戦線は膠着状態が続いていた。

米英の援護も限界があり、共産軍に対しての援護は拒否状態であった関係で中国軍の内情は次第に分裂状態になっていった。

日本軍は戦線が拡大して兵站補給が困難の状態であり、ノモンハン事件もあり、不安要素が次第に大きくなった。日本国内は働き手の男性は兵隊で出兵し国内経済は次第に悪化、資源も限界で苦難が続いていた。

戦争とはスパイ作戦で勝敗が決るとまで言われている。米英関係はヨーロッパ戦線の悪化で中国援護も不安定になっていた模様だ。対策として日中戦争の講和計画が「中国新政府の樹立であった」

講和条約の内容は下記の通り「日本国の状況察知の結果でもあるようだ」

1. 日本軍は中国大陸から全面的に満州に撤退することが条件であった。
2. 代償として満州国の利権は国際連合で承認することであった。

中国代表は汪精衛主席、日本代表は板垣征四郎大将であった。

米英は日本軍に対し日露戦争の講和問題も経験した実例があるので日本国は素直に受け入れるものと誤算したのではないかと思う。

日本国の内情は富国、強兵、問題が対立していた関係で結論に苦慮した。

日本憲法の主旨を尊重し忠実に守護した関係で中国提案の講和問題を拒否した首謀者は軍の上層部強硬派であった。(後日の戦犯者)

汪精衛は再度講和を強調し、中国人民の性格と思想を説明した。日本人がいかにかに宣撫しても絶対に靡くことはない執拗な民族であることを強調した。

中国国民の生活状態は家族は離散、親兄弟は命を失い家は焼け最悪の状態であることを強調して講和を要求したが日本軍は拒否した。

中国人は鬼畜日本人、「トンヤンキー」と罵った。

暫くの間平穏であった各地区ではゲリラ戦が盛んになった。

上海の異国人は引き上げが盛んになり不穏状態になる。

鉄道は毎晩爆破され治安は次第に悪化して不安要素が多くなった。

日本軍は各地域の掃討作戦が多忙になっていた。

不安の状態である上海を後に心配しつつ久々に母国に復員した。

国連のアドバイスを拒否した日本に対しては、報復として「ABCD」国の経済封鎖が実施されて最悪の状態になってしまった。この儘の常態では自滅であることは明らかである。ヨーロッパ戦線に平行して日本も大東亜戦争に突入することになる。

1941年 12月8日 アメリカに対して宣戦布告、戦闘に突入した。

続いて連合国にも宣戦布告、東南アジアの資源国を占領して戦闘を続けた。南京、新政府の講和条約を拒否した責任は大きい。「陸軍強硬派の汚点である」終戦後国際裁判の戦犯者は主として強行派であった。

大元帥陛下は軍の最高指導者であるが、強行派の陰謀であることが判明したので、大元帥陛下の戦犯容疑は除外されることになった

のである。

国際的には強行派軍人を戦犯者として処刑されたが誠に気の毒である。

帝国軍人として日本民族のために戦った勇士であり「反逆者ではない」

当時の陸海軍省、推薦で靖国の神として祭ったのは日本憲法で定めたのだ。

21世紀の経済は東洋であると世界が注目しているその中心が中国である。

日本文化のルーツでもある中国を再認識する必要に迫られている。

靖国神社問題もその一例である。

中国思想は一度犯罪を犯した者は、未来永劫その罪は許されないのである。日本思想は死により総てが清算される仏教思想の違いがある。

輪廻転生、霊魂不滅の思想倫理は国情により異なるものである。

中国人の指導者は中国人としてのプライドが非常に高い。

アジア黄河文明4000年の歴史、漢字文化、世界最大の人口、世界最高峰であるヒマラヤ連峰、4000m級の広大なチベット高原、未開発天然資源その他、世界一建造物・万里の長城、最大の木造建築、このプライドを堅持することが中国指導者の最大の使命である。学歴社会は国家権力と共産軍の支配で堅持している。一般庶民は共産主義思想で経済発展を目標に努力している。

中国思想は以上の問題から判断しても不変であることは明らかである。

国際外交上日本国内の問題として至急対処すべきであると思う。

戦争を放棄し世界平和のシンボルとなった文化国家であるその責任は大きい。世界の大空に大きく羽ばたき世界平和に貢献したいものである。

第 40 回上級表面処理技術講座

—受講生募集—

(株)ハイテクノは第 40 回上級表面処理技術講座(11 月開講)の受講生を募集する。

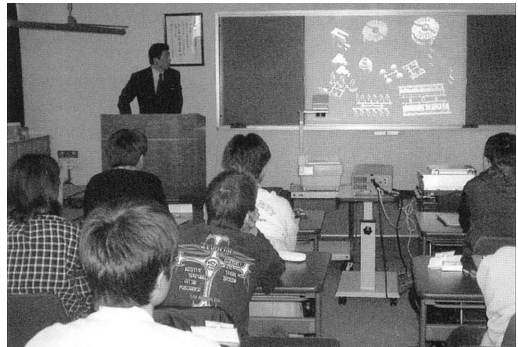
開講以来 40 年目を迎え既に約 1600 名の修了者を業界に送り出している。最近の講師陣には多くの卒業生を数えるようにもなった。開講以来教育方法を工夫しながら改善を重ね、ビデオ、プロジェクター等の AV 機器をフルに利用した効果的な授業を行っている。また時代の変遷とともに、表面処理技術の内容も変化し、進歩するので、毎年時代に即応したカリキュラムを編成し続けてきた。一方的な知識のつめ込みだけでなく、各講座単位ごとに行われる確認テスト、グループ討論や修了認定研究発表などを通じて幹部にふさわしい人間教育も行っている。

講座は「一般めっきコース」と「エレクトロニクス実装コース」の 2 コースがあり、「一般めっきコース」では湿式めっき技術を中心とするほか、ドライプレーティング、陽極酸化、工業塗装等の関連表面処理科目も設け、幅広い表面処理技術分野を学ぶことができる。「エレクトロニクス実装コース」では新しい時代に即したエレクトロニクス実装技術者の養成を図る。また、工場幹部に必要な工場経営や生産管理、品質管理、環境管理などの管理科目を設けている。それぞれのコースにはじっくり教育を目的とする本科(基礎科目+専門科目)と、忙しい人のための専修科(専門科目のみ)が選択できる。

講座では、普通の大学や講習会とは違って、時間厳守の方針をとり、出欠を厳しく管理している。各授業の終わりには内容確認の目的の簡単なテストを行う。

講師陣は受講生のアンケート回答により受講生の理解度をフィードバックして授業内容や授業方法の改善に努めている。

講座は午前 10 時から午後 5 時までで、東北や関西地区からの新幹線通学も可能である。受講生によるグループ討論会、懇親会、修了



認定研究等を通して発表力、討論能力を養成すると同時に人間関係もつくる。

講座期間は本科が平成 18 年 11 月から 19 年 11 月、専修科は平成 19 年 2 月から同年 11 月まで、原則として木曜日開講(AM10:00~PM5:00)一部土曜日開講。定員は本科一般めっきコース 20 名、エレクトロニクス実装コース 10 名、専修科は各コース 15 名(申込順受講認可)。講堂は京浜島センタービル。

費用は本科の入学金がハイテクノ会員企業無料、その他企業 5 万円、本科の受講料は年間 50 万円。専修科の入学金はハイテクノ会員企業無料、その他企業 5 万円、受講料は年間 45 万円。入学金、受講料は 10 回分納方式を勧めている。申込締切は 10 月 20 日。

なお同講座には「キャリア形成促進助成金」制度が適用される。従業員の派遣を計画の事業所は 8 月中旬に事業内職業能力開発計画作成の相談・提出を、当地の雇用・能力開発機構(ナビダイヤル 0570-001154)へ。

受講資格は、学科の程度は高専、大学程度なので、大卒(文系を含む)は勿論、高卒程度の知識と意欲があればついて来られるので資格制限はしていない。また所定の合格認定単位数に達し修了認定研究の審査に合格した者に対しては修了認定証授与規程に基づき修了認定証が授与される。

申込みは、(株)ハイテクノ 上級表面処理技術講座事務局(〒143-0003 大田区京浜島 2-16-1 京浜島センタービル内)
TEL03(3790)3174(代) FAX03(3799)0928
<http://www.hightechno.co.jp>



芝公園

全鍍連事務所のある芝公園の機械振興会館には年数回、新年会、総会、年末の全国大会へ出席のため足を運ぶ。最寄り駅はJR浜松町駅か地下鉄の神谷町駅、だいたい浜松町駅から増上寺を抜けて高台の機械振興会館へ歩いていくことが多い。

たまたま地図を広げてみると、芝公園の中に古墳と記されており、どんな古墳なのか少し早めに出て寄り道した。

浜松町駅から歩いて増上寺の三門の前を左へ行くと、うっそうと樹木が茂った芝公園があり、その中に入って、小高くなったところを登ると、伊能忠敬碑がたっている。江戸時代、地理学者伊能忠敬がこの地を元標として日本全土を測量したといわれる。

この辺り一帯が古墳になっているようで、案内板によると、東京都指定史跡“芝丸山古墳”全長106m前後、後円部径64m、前方部前端幅約40m、くびれ部幅22mほどの都内最大級の規模をもつ前方後円墳である。標高約16mの台地端に位置し、前方部を南々西に向けている。江戸時代以降、原形はなかり損じられており、特に墳頂部や後円部西側は削られている。5世紀代の築造をみられており、



(伊能忠敬碑)



(増上寺の三門)

そのころ、付近の低地の水田地帯に生産基盤をもち南北の交通路をおさえていた南武蔵有数の族長の墓だと考えられる

(東京都教育委員会)とある。現在では東京の真ん中、一等地に都内最大級の古墳があることは驚きである。また、増上寺の三門も重文に指定されている。案内板には、“三解脱門”慶長16年徳川家康公の助成により建立されたもので、略称を三門といい、貪欲、瞋恚、愚痴の三悪(三毒)を解脱するという意味からこの名があると紹介している。

距離にして2~3百mの寄り道であるが、東京にも余り知られていない文化財があるものと思った。このあと全鍍連行事に出席した。(S)

つ
ま
ま
恋
坂

人手不足？

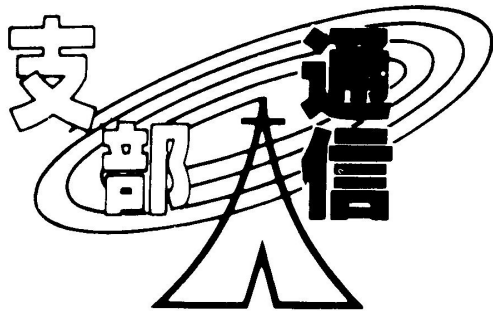


藤田 直人(品川支部)

人手不足と言っても人材不足（あるいはやる気不足？）のことです。現在品川支部は人材難から城南支部との統合へと動いています。両支部とも同じような状況なのですが当支部では現在38社ありますが不景気の影響もあり、ぎりぎりの人数で営業しており、組合の役員を出す余裕がないのが現状です。その中でも何とか都合を付けて（飲む理由付けの方もいますが）役員会などに顔を出しているのが現状です。本来ならばわたしなど役員まして支部長などやるような人材ではないと思っています。

こういった役員不足というのはわたしが子供の頃にはなかった現象のような気がします。「やりたい人にやらせておけばよい」そんな言葉を聞いた覚えがあります。その頃はそれで十分にやりたい人がいたようです。幼稚園、学校のP. T. A. などの役員もやりたい人が多くてやりたくない人は任せておけば良かったようです。世の中がそれだけせわしくなり、仕事に生活に余裕がなくなったと言うことでしょうか。

「ご隠居さん」とか悪い言葉ですが「うるさいおやじ」とか「うるさいばあ」などがいて漫画の中にも必ずそういうキャラクターがいたものです。悪いことをする子供を本気でしかり、意見されたものです。別に社会的地位が高いとか金持ちだとかに関係なくいたような気がします。今考えると年金暮らしの元役人と言ったところの人だったのかとも思いますが、子供の頃のことだったので（皆さん亡くなってしまって今更聞きにくいこともありますが）どういう人だったのかは本当のところわかりません。それにしてもそういう方たちがあちこちにいるそういう人たちがいろいろ役職をやっていた気がします。内の親たちでさえ、今のわたしに比べると余裕があったような気がします。いそがしさにかまけているわたしの気のせいですかね？



■城東支部

花火観賞の納涼会

城東支部(遠藤清孝支部長)は7月29日(土)夕、支部恒例の納涼会を、支部員13名が参加して浦安薬効温泉「湯巡り万華鏡」で行った。

城東支部の納涼会は“お風呂シリーズ”として今回第4回目となり、湯巡り万華鏡はこの春オープンした日本最大級の、約10,000坪の広さを誇る温泉施設である。地下約1,400mから湧き上がる天然温泉をはじめ、漢方薬湯や足湯などバラ



エティ豊かなお風呂を楽しむことができる。参加者は早めに来て天然の海香温泉、漢方薬湯、露天風呂などを楽しみ、日頃の疲れを癒した。当日は浦安の花火大会と重なり、新浦安駅から大変な人出で混雑したが、温泉につかったあとの7時からの懇親会では冷えたビール等を飲みながら、見事な花火が観賞できて、“今回の企画は最高である”と絶賛の声が遠藤支部長に送られた。

7時からの懇親会は、西田和幸総務の司会により、遠藤支部長は「みなさん温泉でくつろいで頂けたと思うが、私が支



部長になり、納涼会はお風呂シリーズとして大江戸物語を皮切りに、今回4回目となる。お風呂にも色々あって興味深い、いま都内に銭湯が何軒あるか、約900軒ということで、10年前は1400軒あったそうだが、どんどん減っている。今日はタイミング良く花火を觀賞することができる。先月の支部例会で支部運営について活発に議論を交わしたが、先月の本部理事会で、支部の事務局を本部で持って頂けないかという話をさせて頂き、理事長から前向きに検討するとの返事を頂いた。その結果については後日報告したい」と挨拶した。

八幡順一副理事長は「今回はたまたま花火大会にぶつかりラッキーであった。思い出に残る納涼会となろう」と述べて乾杯音頭をとった。

飲みはじめて間もなく、目の前の大空に大輪の花火が展開され、会場の電気を消してビールを飲みながら、もっぱら花火觀賞に熱中した。定刻、花火が終了して、思い出深い納涼会は木下健次常任理事の手締めにより終了した。

■葛飾支部

釣り大会

7月16日(日)、葛飾支部は千葉県岩井にて釣り大会を行った。

午前3時に支部事務局前を出発、京葉道路、館山自動車道を使い木更津南インターで降り一般道127号線を使い、薄明るくなった岸線沿いを走り、午前5時岩井海岸に到着、参加者11名は直ぐに岩井漁港に止めてある船2隻に乗り込む。

お天気は曇り空、心地好い風が吹き、

波はあまりない絶好の釣り日和、釣り場は船で2~3分の所から始まり竿を下ろして直ぐキスが釣れる。

今日は大漁の気配が感じられるなか皆さんキスやメゴチを順調に釣る。中にはウツボやサメ、鯛、ベラ、鯛の仲間などが混じって釣れる。

お天気も時々太陽が顔を見せるなか、寝不足の人が2人おり、船酔いを始めたので、30分掛けて波のない館山湾へ行く。ここでも良く釣れる。

ある程度キスを釣ったので、仕掛けを変え生きたイワシをつけて大物のマゴチを狙うがなかなか釣れない。しかし一同ゆっくり糸を巻いているときにイカが追いかけて来たが残念ながら取り逃がす。

午前12時漁港に戻り成績を見たが、魚の数も皆さんそれほど差もなく、大物賞の25センチ級キスも皆さん釣っており、今回は順位をつけず終わることになった。

午後0時30分岩井を後にして支部事務局へ向かう。途中トイレ休憩をはさみ午後3時に到着する。

直ぐに事務局近くにある「とんでん」で反省会を行い、釣り談義に話が弾み、午後4時過ぎに解散する。

終わりに今回の楽しい釣り大会の企画を立てて頂いた幹事の西谷、伊藤副支部長さんに感謝いたします。

■城南支部

納涼会

梅雨明け十日の厳しい暑さが続き、そして台風接近と目まぐるしく変わる天候の中、城南支部(若山満支部長)では、8月9日(水)PM6:30より参加者11名で目黒とらふぐ亭に於いて納涼会を催した。

大村理事長も城南支部の会員として参加され、「今後の各支部の存続について、いろいろの問題を抱えているが、現在、東京都鍍金工業組合の会員480社を一支部100社とすると将来5支部位に統合していかなければならない。城南支部と品川支部の統合もよろしくお願ひします」との挨拶があり、木村秀利顧問の乾杯のご発声で和やかに宴がはじまった。久しぶりに会う仲間と言いたい放題の会話に



大いに盛り上がり、また皆で戴くお料理の味は一段と美味しく、一同大満足の納涼会でした。夏なのに何故か、ふぐ料理これも若山支部長の発想の転換なのでしょう、ご馳走様でした。余談になりますが、看板のとらふぐ亭の文字は片岡鶴太郎の揮毫のものでした。来年は品川支部と一緒にもっと大勢で賑やかに楽しい納涼会が出来ることと期待しています。

長かった梅雨空にも負けず、厳しい暑さにも負けず、不景気にも負けず、いつも笑顔で頑張りましょう！

(板倉富美子)



■足立支部

水再生センター見学

足立支部(永田一雄支部長)は7月22日(土)午後1時より15名が参加し、足立区中川5-1-1 東京都下水道局中川水再生センターを見学した。

見学に先立ち、東京都下水道局北部第二管理事務所渡邊康雄業務課長より挨拶があった。その中で、下水処理に関して物理化学的な処理方法は莫大な費用がかかるので、中川水再生センターでは自然の微生物を利用した処理を採用している、との説明があった。また、下水道局から各事業所へのお願いとして、①自然災害時の対応 ②日頃の作業点検 ③排水処理で困ったこと、コスト等に関して遠慮なく相談してほしい との説明があった。続いて下水道局の方々からプロジェクターを使用しながら、水質規制の目的、pHに関しては、下水道施設は大部分がコンクリートと鉄で出来ているため酸やアルカリに弱い、したがって酸やアルカリが流れると腐食し、劣化する。また、酸性物質はコンクリートに触れ



ると、コンクリートの中性化にもつながり、中性化すると強度が下がり、陥没事故の原因となったり、地震にも弱くなる。次に有害物質については、例えばシアンが流入した場合、酸と混ざると猛毒なシアンガスが発生する。さらに、水再生センターは24時間休むことなく下水処理のために運転されているため、夜間・土日曜日・盆暮れは極端に水量が少なくなるため有害物質の影響が大きくなる。つまり、下水中の汚れを分解する微生物が死んでしまうとの説明があった。最後に、より多くの窒素やりんを除去出来るA2O法の説明があった。これは嫌気槽(汚水と活性汚泥を、空気を吹き込まずに混ぜ合わせる。活性汚泥



中の微生物は酸素がないので、体内に貯えたりんを水中に放出する)、好気槽(空気を十分に吹き込むことで、有機物は微生物により分解され、窒素は酸素と結びつく。また、嫌気槽で放出した以上のりんが微生物に吸収される)、無酸素槽(嫌気槽から出てきた水に、好気槽から窒素と酸素が結びついた水を戻すことにより、微生物は窒素についた酸素を奪って呼吸する。これによって、酸素を取られた窒素はガスとなって放出される)を使って処理するものである。

以上、約1時間の説明を受けてから処理施設の見学に移った。敷地面積311,240㎡、処理能力225,000m³/日の施設はさすがに広大で、下水を処理した水で作った小さな自然、ここには魚介類や水生昆虫、ほたるなどが生息する「いちょうが池の里」なども見て回り、見学も約1時間を要した。見学終了後、場所を近くのファミリーレストランに移動し、コーヒー等を飲みながら反省会を行い、情報交換後散会した。(小嶋一浩)

■中央支部

納涼会

中央支部(木下好雄支部長)は8月10日(木)午後6時半から上野精養軒屋上ビヤテラスで支部員、家族、従業員75名という大勢が出席して納涼会を行った。

石井徹夫総務の司会により、木下支部長は「台風一過の暑いなか大勢の参加を頂き感謝申し上げます。今日は上野の森の中で元気に飲んで暑さを吹き飛ばして下さい」と挨拶、乾杯した。続いて高柳良夫台東区議会議長から挨拶を頂いた。

精養軒は上野の山の高台に位置し、夕暮れのなか不忍池全景やネオンがきらめく東京の夜景が眺められ、涼風を受けながら冷えたビールの味はまた格別である。親しい仲間同士との会話

も弾んだ。定刻、間部健太郎副理事長の手締めにより納涼会を終了した。



さいこうし
西紅柿

中国で言う「西紅柿」(Xi hong shi)は、どんなものだと思いますか。

柿と関係有るものですか？実は柿とは全く無関係なもので、日本語の「トマト」です。

トマトはナス科の生野菜で、原産地は南アフリカだそうです。何時中国に移植されたかは分かりませんが、そのルートは恐らくシルクロードを経由して中国に普及したのでしょう。トマトの外観は柿と似ていることから、一般的に「西紅柿」と読んでいますが、正式な名前は、「蕃茄^{はんか}」(fan qie)と読むべきです。当時の中国は西にある外国を「蕃国」と称して、トマトは「蕃国」の茄子に認識され、「蕃茄」と名づけられました。

外国から輸入された野菜は中国語でその特徴が分かるような名前をつけるという傾向があります。

中国は現在でも、一般的に「西紅柿」と読んでいますが、南方、特に上海あたりでは、「蕃茄」と呼びます。

編集後記

仕事を終えた後の言葉で、上司に使う「お疲れ様でした」を部下にも使っている人が半数以上、部下には「ご苦労様でした」とねぎらう言葉が一般的とされるが、調査では 36.1%にとどまると、文化庁の「国語に関する世論調査」結果が7月26日発表された。仕事を終えた後の言葉に「お疲れ様でした」「ご苦労様でした」「ありがとうございます」などから選んでもらったところ相手が上司の場合「お疲れ様でした」69.2%、「ご苦労様でした」15.1%、部下に「お疲れ様でした」も53.4%いたという調査結果である。

両方ともねぎらいの言葉であるが、普段何気なく使っている敬語にこうした明確な使い分けがあるとは知らなかった。上司や目上の方が何か仕事を終えた後に「ご苦労様でした」というより「お疲れ様でした」といった方が適切ということである。「ご苦労様でした」でもおかしくはないと思うが、この記事を見て改めて敬語の使い方は難しいと思った。また同じ記事の中に

「あとで後悔した」「順番が一番最後にされた」「従来から行われている」「元旦の夜」といった言葉の重複した使い方、間違った使い方の指摘もあり参考となった。従来から、は普通に使っているが、誤った使い方である。こうした記事を見ると、なおさら日本語の使い方が難しく感じられる。

広報8月号

印刷 平成18年8月15日

発行 平成18年8月15日

(毎月1回20日発行 第39巻第8号)

発行所 東京都鍍金工業組合

〒113- 東京鍍金公害防止協同組合

0034 東京都文京区湯島1-11-10

TEL 03(3814)5621 FAX03(3816)6166

発行責任者 大村 功作

編集責任者 神谷 博行

印刷 スザキ企画 TEL 047(338)1222

〒272-0802 市川市柏井町2-1419-4

定 価 500 円